

令和2年度新たな都市活力推進特別委員会中間報告書 構成（案）

1 付議事件

オープンイノベーション等による企業支援や誘致促進、グローバル都市の実現、文化芸術創造都市や観光・MICEの推進等に関する事。

2 調査・研究テーマ

感染症等を契機とした新たな時代の都市活力の在り方について

3 テーマ選定の理由

横浜市では、これまでに第7回アフリカ開発会議の開催やラグビーワールドカップ2019™などの機会を捉えながら、魅力ある観光資源を活用した観光・MICE施策により、横浜らしい都市の活力を生み出してきた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染症拡大防止の観点から世界規模での移動制限をはじめ、身近なところでは店舗や施設の利用制限など、自由な移動と消費活動が難しくなった。特に、観光産業は宿泊業や飲食業など関連する産業を含め、大きな痛手を受けている。

今後、新型コロナウイルス感染症の流行が収束し、コロナ禍前と変わらない水準まで産業が回復したとしても、再び感染症の流行等の影響を受け、同様の被害を受ける可能性は否定できない。この時代に生きる私たちは、今回のコロナ禍を教訓とし、これからの時代を見据え、既存の常識にとらわれない自由な発想で感染症の流行等があったとしても力強く成長していく都市活力の在り方を検討していく必要がある。

そこで、今年度の本委員会においては、感染症等を契機とした新たな時代に、どのように観光振興を行い、都市の活力を生み出していくかについて調査・研究することとしたい。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和2年7月8日 委員会開催（第1回）

ア 議題

令和2年度の委員会運営方法について

イ 委員意見概要（当日の委員意見を記載）

(2) 令和2年9月18日 委員会開催（第2回）

ア 議題

令和2年度の委員会運営方法について

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説

明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】文化観光局、経済局

(ア) コロナ禍における観光・MICEの状況について (説明概要を記載)

(イ) 市内経済の状況について (説明概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(3) 令和2年11月27日 委員会開催 (第3回)

ア 議題

参考人の招致について

イ 委員会開催概要

本委員会の付議事件に関連して、次回委員会において参考人からの意見聴取を行うことを決定した。

参考人：ラグジュアリー・ブランディング・プロデューサー

Urban Cabin Institute パートナー

山田 理絵 (やまだ りえ) 氏

案件名：ハイエンドトラベルがもたらすものについて

(4) 令和2年12月1日 委員会開催 (第4回)

ア 議題

ハイエンドトラベルがもたらすものについて

イ 参考人講演概要 (講演概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(5) 令和3年2月9日 委員会開催 (第5回)

本日の概要を記載

(6) 次回委員会 (第6回)

当日の概要を記載

5 感染症等を契機とした新たな時代の都市活力の在り方についてのまとめ

委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載